

■5月31日

日航、植木社長、「ボーイング787離れ進まず」、国際線での最大限活用を継続

日航の植木義晴社長は30日の5月定例会見で、バッテリーのトラブルで運航停止が続いていたボーイング787型機について、他機種と比べて予約状況に差がないことを明らかにし、同機の顧客離れは進んでいないという認識を示した。また、同機材を全日空は国内線を中心に投入しているのに対して、日航では国際線でのみ使用している事に対し、ボーイング787は、中型機でありながら初めてロングレンジ(長距離路線の利用)に堪える点を生かしたいとし、国内線への投入は引き続き否定的な見解を示した。

また、同時に、ボーイング767-300ER型機の座席を、13年12月から順次リニューアルし、12月の成田—バンクーバー線を皮切りに、14年度にかけて長距離東南アジア線やホノルル線などに導入していく計画だ。すでに同様の座席の改修は大型機のボーイング777-300ER型機でも始まっており、改修が終了すると、欧米線と長距離の東南アジアの長距離路線のビジネスクラスには、すべてフルフラットのシートが装備されることになる。

(J-CASTニュース)5/30

<http://www.j-cast.com/2013/05/30/176233.html?p=2> (-> <http://www.j-cast.com/2013/05/30/176233.html?p=2>)

(JALプレスリリース)5/30

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201305/002526.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201305/002526.html>)

http://www.jal.com/cms/ja/corp_00238.html (-> http://www.jal.com/cms/ja/corp_00238.html)

日航、不採算路線の復活計画せず

日航の植木義晴社長は30日の5月定例会見で、不採算路線について「不採算と分かって路線を復活することはない」と述べた。同社の好業績を受けて一部政治家などの間に路線復活を望む声が出ている、との記者の質問に答えた。

日経によると、日航は経営破綻後に不採算路線の整理を目的に「国際線で約40%、国内線で30%程度の規模を落とした」という。経営再建には「二度と世間に(経営破綻という)迷惑をかけてはいけないという思いでがんばってきた」と強調した。

一方で「国土交通省と相談して」と断ったうえで、「われわれもコストが下がっていることから、社会貢献の観点からも、できる路線から順次やっていきたい」とも述べ、地方路線の復活に含みを持たせた。

(日経)5/30

http://www.nikkei.com/markets/features/09.aspx?g=DGXNASFL300NJ_30052013000000

(-> http://www.nikkei.com/markets/features/09.aspx?g=DGXNASFL300NJ_30052013000000)

中華航空、石垣—台北線、定期化を視野に営業戦略を強化

マンダリン航空の台北—石垣チャーター便について、親会社の中華航空が定期化を視野に営業戦略を強化し、29日には、7月から石垣発着でも乗れるよう石垣市内の旅行代理店と調整を開始した。台北との航空路線については、復興航空も定期化を視野に石垣発着で利用できるよう関係先と調整している。八重山毎日が報じた。

マンダリン航空の台北—石垣便は現在、クラブメッドがチャーターして運航しており、今年は15日に運航が始まり、当面は6月末まで毎週水土の週2便運航する計画。

中華航空は7—10月の運航について、機材はマンダリン航空のERJ190を継続して使い、運航や営業などは中華航空が行う。運航形態はプログラムチャーターとし、石垣発着でも利用できるようにする考えだ。

同社は国際線ターミナルの拡張などを要望しており、中山義隆石垣市長は29日、県に機能の拡充を要請する考えを示した。

(八重山毎日)5/30

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/22560/> (-> <http://www.y-mainichi.co.jp/news/22560/>)

ソラシドエア、3月期決算、最終利益、前期比2倍11億円

スカイネットアジア航空は30日、2013年3月期決算(単体)を発表した。それによると、最終利益が前期比2倍の11億

円で過去最高となった。売上高は4・8%増の306億円で増収増益。累積損失1億円も解消した。

新しい航空機3機を導入して燃料費や整備費を削減。運航トラブルも減ったことから利用者数が増えて、収入を押し上げた。

(産経ニュース)5/30

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130530/biz13053018580044-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130530/biz13053018580044-n1.htm>)

(スカイネットアジア プレスリリース)5/30

<http://www.skynetasia.co.jp/corporate/press1305302.pdf> (-> <http://www.skynetasia.co.jp/corporate/press1305302.pdf>)

中国航空当局、独立系航空会社設立を解禁

中国の航空当局は、6年ぶりに独立系航空会社の設立を解禁した。最も厳しく規制されている業界の1つである同国航空業界の自由化に向けた動きとなる。

中国政府は2007年、国有航空会社の保護と成長促進のため、2010年まで航空会社の設立申請の受理を停止する方針を明らかにしてきた。中国民用航空局(CAAC)は10年代半ばに一時的に自由化を試みた。05年に春秋航空、06年に吉祥航空が運航を開始した。その一方、新しい航空会社で安全税と資金面の問題が生じ、CAACは規制を強化した経緯がある。

中国民用航空局(CAAC)は今月、山東省に本社を置く複合企業の南山集団が港湾都市の青島市を拠点とする青島航空を設立することを許可した。2週間前には複合企業の雲南景成集団が国内線を運航する瑞麗航空を設立することを認めた。

瑞麗航空は瑞麗市を拠点として、使用機材はボーイング737型機、一方、青島航空はボーイング737型かエアバスA320型機での運航を計画している。

(WSJ)5/30

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324182504578514300309229018.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324182504578514300309229018.html>)

シンガポール航空、ボーイング・エアバスと170億ドルー航空機購入で合意

(bloombergによると)

シンガポール航空は、米ボーイングと欧州エアバスから計170億ドル(約1兆7290億円)相当の航空機を購入することで合意した。アジア全体の経済成長で旅行需要が高まっていることが背景にある。

30日発表によると、シンガポール航空はエアバスA350-900を30機、ボーイング787-10xを30機それぞれ購入する。同社は保有機数と燃費の良い機体を増やしており、昨年10月にはエアバスにA380を5機、A350-900を20機それぞれ発注している。

(bloomberg)5/30

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MNM06F6K512201.html> (-> [http://www.bloomberg.co.jp/news/123-](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MNM06F6K512201.html)

[MNM06F6K512201.html](http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MNM06F6K512201.html))

IATA、4月、国際線旅客需要、前年同月比3.0%増、中東が高い伸び

国際航空運送協会(IATA)は30日、4月の国際航空旅客需要が前年同月比で3.0%伸び、前月比では1.4%増だったと発表した。航空需要の拡大傾向は過去6カ月で加速しており、昨年半ばと比較して経営環境が改善している。ロイターが報じた。

全ての地域の航空会社において前年比で航空需要は伸びており、特に中東の航空会社が最も高い伸び率となっている。また、地域別航空需要では、新興国が他の地域を上回った。

(ロイター)5/31

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94T00P20130530> (->
<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTJE94T00P20130530>)

エア釜山(LCC)、韓国LCC最短、利用者1,000万人突破

アジアナ航空の子会社である、格安航空会社のエア釜山はこのほど、韓国LCCの中では最短期間の1,669日(約4年6ヵ月)で、搭乗者数が1,000万人を突破したと発表した。これは安定した路線のネットワーク拡大とニッチ市場の開拓によるものという。

(日刊航空)5/31

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

スカイマーク、成田—石垣、神戸—石垣線、全日同一運賃に値下げ

スカイマークは30日、7月10日—7月31日までの「成田-石垣線」「神戸-石垣線」の運賃を発表した。それによると、2つの路線において、金・日・祝日を同一運賃に値下げを行い、全日同一運賃とした。また新たに搭乗日の3日前までの予約の出来る「フリー3」を設定した。

(スカイマークプレスリリース)5/30

http://www.skymark.jp/ja/company/press/130530_press.pdf (-> http://www.skymark.jp/ja/company/press/130530_press.pdf)
http://www.skymark.jp/ja/company/press/130530_press_2.pdf (->
http://www.skymark.jp/ja/company/press/130530_press_2.pdf)

新しい運賃は以下の通り



すかい.png

Portable Network イメージフォーマット [39.5 KB]

[ダウンロード](#)